

散歩中に接触した糞から
感染することもある寄生虫。
定期的な検査が大切です。



寄生虫の有無を確認する便検査をご紹介します。

消化管内の寄生虫感染の有無を確認する検査

糞便寄生虫検査

どんな検査ですか？

便中に寄生虫や寄生虫の卵がないかを調べることで、
消化管内の寄生虫感染の有無を確認する検査です。

日本の家庭で飼育されている6ヶ月未満の犬の約3割に、
何らかの消化管内寄生虫がいると推定されています。

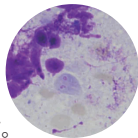
※健康診断の一環として**1年に1回の便検査**が推奨されています。

この検査は何に役立つの？

- **下痢**の原因を探るうえで重要な検査です。
- まれに人に寄生する場合があります**人獣共通感染症**としても注意が必要です。

どうやって検査するの？

少量の便を直接顕微鏡で調べたり、溶液に溶かした便から虫卵を集めて顕微鏡で調べたりすることで、寄生虫の有無や種類などを確認します。寄生虫の遺伝子が便中にあるかを調べる検査もあります。



便の採取

病院で採取も可能ですが、自宅で採取する場合は、できるだけ新しい便を病院に持参してください。容器の指定のない場合は、密閉できる容器やビニール袋などに入れましょう。できるだけ涼しい状態(冷凍不可)で保存します。



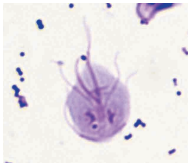
どんな寄生虫を調べるの？

よく見られる代表的な消化管内寄生虫としては
ジアルジア、コクシジウム、回虫、鉤虫、鞭虫などが
挙げられます。寄生虫が検出された場合は駆虫薬により
治療をすることができます。

鉤虫卵



ジアルジアの栄養体



回虫卵

